

「四街道市子ども読書活動推進計画」(案)に係る意見提出手続  
 において提出された意見の概要と市の考え方

平成28年12月1日(木)から平成29年1月5日(木)に「四街道市子ども読書活動推進計画(案)に係る意見提出手続を実施したところ、以下のとおり、意見の提出がありました。

○提出者数 3人

○意見件数 3件

意見の概要とその意見に対する市の考え方は以下のとおりですので公表します。

「市の考え方の区分」	修正	= 意見を反映し、案を修正した
	原案どおり	= 案を修正しなかった
	その他	= 感想、この案件以外の意見等

意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方	区分
1	第二次計画で、児童の年間読書冊数30冊以上が達成されたので、第三次計画では、質の高い読書に目を向け、各学校がどう取り組んでいるか意見交換をしたり、市全体、各家庭での取り組みを一緒に考えたりしてはどうか。また、郷土の作家として「齋藤隆介」について取り扱ってはどうか。	意見内容は、推進計画(案)の第3章の1 家庭における推進方策の事業番号3・4、第3章の3 学校等における推進方策の事業番号28、第3章の4 家庭・地域・学校等間の連携・協力の推進の事業番号43に位置付けているため、意見内容はすでに反映されています。また、郷土の作家については、事業番号37にあるブックリスト作成の際に取り扱うようにしてまいります。	原案どおり
2	子どもの読書力は中学、高校になる程、低下しているように思う。親が本を読むことの大切さを理解して、家庭でも、1日30分でも一緒に本を読む時間を作ってほしい。優れた児童文学を図書館、学校司書の方が子どもたちに手渡してほしい。	意見内容は、推進計画(案)の第3章の1 家庭における推進方策の事業番号4、第3章の2 地域における推進方策の事業番号7、第3章の3 学校等における推進方策の事業番号32、34に位置付けているため、意見内容はすでに反映されています。	原案どおり
3	「あなたは(皆さんは)本を読んでもらうのは好きですか、楽しいですか」を呼びかけながら地域の一人の大人として子どもたちに読み聞かせを届けたいと思っている。今後とも、保護者の方に体験していただき、ボランティアを継続してくださる方を募っていきたい。	読書に関わるボランティアの方の存在は非常に大切であると考えます。ボランティアの育成については、推進計画(案)の第3章の2 地域における推進方策の事業番号10に位置づけております。今後、ボランティアの方々の支援をしてまいります。	原案どおり